

委員会視察研修報告

総務経済常任委員会

○鳥取県智頭町
「ゼロ分のイチ」(無から有への一步を踏み出そう)という集落単位での村づくり活動や、「百人委員会」という町民提案型の行政参画の仕組みを構築していた。

○徳島県鳴門市

中小企業を大切に育てることで地域経済を活性化させる方針のもと、様々な企業支援を行っている。中小企業振興基本条例を制定され、企業訪問や中小企業振興施策検討委員会を定期開催している。その結果、企業支援のための具体的な事業が生まれ、強力な企業支援ネットワークとして機能していた。

○徳島県海陽町

阿佐海岸鉄道(株)

DMV(デュアルモードビークル)とは、マイクロバスをベースに道路と線路の両方を走

行できる世界初の乗り物。特有の観光資源や平坦地という条件で導入され、採算性より話題性で観光等総合的見地から導入されたもの。考え方の転換でまちづくりに貢献していく意気込みと見識を持つての提案・実行を見習いたい。



教育福祉常任委員会

○岡山県玉野市.. 特別支援教育事業

玉野市の特別支援教育は、人間の多様性の尊重等を強化し、障害者が精神的及び身体的な能力等を最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的のもと、障害のある者となない者が共に学ぶ仕組みで、特別支援教育の視点に立った支援体制が充実していた。

○高知県高知市..

子どもによるまちづくり支援事業「こうちこどもファンド」

パートナシップのまちづくり条例の制定の背景は、市民の期待は多様化し、従来の行政のやり方では十分な対応ができなくなった、行政だけでは実現することが難しい場面も見られ、市民と行政のパートナーシップを強めていくことが必要になった。
住みよい高知市のために、必要な基本ルールを定め、市民のニーズに柔軟に対応できる行政のシステムや市民の自主的なまちづくり活動を支えていくための仕組みづくりをめざして制定されていた。



広報公聴常任委員会

○鳥取県大山町議会

「議会だより だいせん」は、令和2年度の全国議会広報コンクールにおいて、中国地方で唯一、優良賞を受賞している。

紙面に写真を多く配し、委員のなかにいるプロのカメラマンが写し、親しみやすい議会だよりを町民の皆様へ届けている。

また、町内160集落へ順次出かけて開催する座談会の様子を特集記事とし、より町民の立場に立った議会だよりとしていた。

